

身近なモノの歴史について 調べよう

2年 世界史 A
「身近なモノの歴史を調べる」
資料の活用(探究型学習)

ねらい

- 自分の興味・関心を持った身近なモノの歴史と世界史との関連について資料を活用して調べる。
- 興味・関心を持ったモノの歴史について、分かりやすく要点をまとめ、プレゼンテーションを行うことができる。

学 習 展 開

- ① 担当教員が、授業の流れと発表方法などについて説明する。学校司書が情報の集め方などについて説明する。
- ② 生徒が興味のあるモノの歴史について、図書資料や iPad などを利用しながら、ワークシートに書き出す。
- ③ 生徒は、ワークシートに書き出した内容を厳選し、プレゼンテーション用のワークシートに記入し、絵や写真などを付け加える。
- ④ 生徒は、グループ内で相互にプレゼンテーションを行う。良い作品に選ばれた生徒は、クラス全員の前で発表する。



発表したワークシートを図書館に展示

◆学校司書との関わり

- 学校司書は過去の授業成果物をもとに、教科担当教員と授業の流れと必要な資料について話し合う。
- 学校司書は生徒に情報の集め方・参考資料の記録について説明を行う。(T2)
- 学校司書は教科担当教員と連携して、個々の生徒に必要な資料を手配する。

★指導のポイント

- ◆ 授業では、学校図書館にある本だけではなく、県立図書館から本を借り、さらに iPad などを使って調べ、様々な情報を整理、厳選させ、まとめた。
- ◆ 図や絵、イラストなどを用いながら、効果的なプレゼンテーションを行うための指導を行った。

資料

個々のテーマに沿った資料 (自校・県立図書館・インターネット)

(例) 眼鏡の歴史

『メガネの文化史』リチャード・コーソン (八坂書房) 『眼鏡の社会史』白山晰也 (ダイヤモンド社) 『眼鏡の歴史』大坪元治 (日本眼鏡卸組合連合会)